

この夏は、猛暑日が1ヶ月近くも続いた厳しい暑さでした。秋の気配を感じてホッとする今日この頃ですが、皆さま体調は大丈夫ですか？

ごけい たより

互恵便り 第18号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…

NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



7月31日 仲多度郡まんのう町
ひまわりの里まんのう

写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

待ちどおしい秋！残暑お見舞い申し上げます。



わが家は、子が親の墓を建てることにしています。今は4代前までのお墓が並んであり、ご先祖の俗名を見ることで先祖を知ることができます。

私は幼い頃に祖母に連れられて、よく墓地にお参りに行ったものでした。私も毎月第一日曜日に、孫と一緒に墓参りを始めてから1年が過ぎました。最初はこの写真の様に二人が同行してくれました。今はお兄ちゃんだけが、幸せな時間です。

中谷石材株式会社
社長 中谷明生

当たり前だと思っていたことが、当たり前ではなくなってしまうことがある昨今ですが、どうか、これからもご家族そろって氏神様、ご先祖様のお墓にお参りを続けていただけたらと思います。

私たちが今こうしてあるのは、父母・祖父母とさらに前のご先祖様のはたらきがあつてのことです。お盆は、今日自分がこうしてあることの感謝を伝える日と言えます。本当に大事なものはお墓そのものというより、その下に眠る故人への感謝の気持ちです。私はそう思っています。

お盆は、今日自分がこうしてあるのは、父母・祖父母とさらに前のご先祖様のはたらきがあつてのことです。お盆は、今日自分がこうしてあることの感謝を伝える日と言えます。本当に大事なものはお墓そのものというより、その下に眠る故人への感謝の気持ちです。私はそう思っています。

お盆は、今日自分がこうしてあるのは、父母・祖父母とさらに前のご先祖様のはたらきがあつてのことです。お盆は、今日自分がこうしてあることの感謝を伝える日と言えます。本当に大事なものはお墓そのものというより、その下に眠る故人への感謝の気持ちです。私はそう思っています。

お墓は幸せのシンボル



「お墓」のことは、私たち中谷石材(株)にお任せください クリーニングでお墓をきれいに！

毎年お盆前は各部署が大忙しの当社です。炎天下での現場作業は、草むしり事業部だけではありません。お盆の前にお願ひしたいと願うお客様からのご依頼にお応えして、施工部のスタッフもそれぞれが各現場に出向いて業務に当たりました。



お墓のクリーニングを
「ご存じですか？」

故人を偲ぶお墓は、できるだけ大切に残したいものです。お盆のお墓参りの際に、汚れが気になったなど、お墓に関する困りごとはありませんか？

手洗いだけでは落ちなくなつた経年の汚れも、私たちプロのクリーニングなら大丈夫、きれいになります。気になる黒水垢もコケも、全て取り除いて墓石は再び艶と輝きを取り戻すことができます。

今年のお盆前も、ご依頼をいただいたお客様のお墓を、しっかりとクリーニングさせていただきます。仕上がりを喜んでいただき、私たちも嬉しかったです。

追加の「文字彫刻」や
「傾き直し」も「相談を

汚れの他にも、お墓に関することなら何でも、私たち中谷石材にお気軽に「相談ください。追加の「文字彫刻」はもちろん、墓石の「傾き直し」「納骨のお手伝い」「墓所清掃など、安心して当社にお任せいただいています。



開催に向けて 実行委員会開催しました！

8月1週目に会議を行い、イベントブースの決定とメンバーの割り振りをして社員への伝達まで進みました。各ブースに必要な情報をまとめてから8月最後の週が次回の会議です。



第13回 庵治石 in
「ふれあい祭り」
10月22日(土)

梶山さん、安部さん、弓削さんは、部署リーダーとして部署メンバーのとりまとめ役として頑張ります。



大川工場の北山です。これまでブースリーダーは経験してきましたが、今回初めて総リーダーを務めさせていただきます。

平井さんと協力して、来てくださったお客様によりよいふれあい祭りをお届けできるように各ブースのリーダーの皆さんとも協力しあい頑張っていきます！



なんだか妙に意気込みを感じるの二人のツーショット！草むしり事業部からの部署リーダーは、遠山さんと林さんです。よろしくお願ひします！

今年の総リーダーは僕と大川工場の北山さんの2人体制です。しつかり情報共有して円滑な伝達を心がけ、ふれあい祭り当日までの少ない日々を大切にしようと思ひます。

張りきって
取り組んでいます

施工部では墓石の部分的な修復から全面的な改修、花立の穴あけ直しや外柵なども含む、あらゆるリフォームに対応しています。ご相談ください。



中谷石材「わたしの仕事」

施工部



■ 中谷石材の施工仕事は、私たちが担当しています！

私たち施工部4名は、新しい墓石の建立据え付け工事や、既存のお墓のリフレッシュ工事、そして商品の配送、納骨支援などを担っています。

田岡保さんは、勤続年数35年で現在66才。年長ながら体力もあり、読書好きで知識も豊富。そして、とにかくお酒が好きで強い！(笑)優しく謙虚な人柄なので、若者たちにも慕われています。

平井誠さんは再入社8年、施工歴25年目の49才。仕事が丁寧かつ迅速と、営業さんにも信頼されている職人さんです。また技術面だけでなく、お客様に対する礼儀や気配りもメンバーの手下となっています。

三枝琢也さんは入社8年目の50才。環境整備でその腕を知られるようになったペンキ塗りは、仲間から「職人三枝」と言われるほど。コロナ前まで全社で取り組んでいた一斉環境整備では、環境整備委員として頑張っていました。

いちばん若い三浦大輔さんは、再入社9年目で施工歴18年の40才。6ページの「社内報から」のコーナーでも紹介されていますが、後輩から慕われ先輩からは可愛がられる、マイペースながらもいつも気遣いを忘れない仲間です。



田岡 保



平井 誠



三浦 大輔



三枝 琢也

中谷石材の施工部としてお客様に喜んで頂けるように、お客様との信頼の獲得とご縁を深めていきたいです。

施工の仕事は、一期一会の精神で取り組んでいます。よろしくをお願いします。

周りの事をよく考え、いつでも笑顔でいられる様に心掛けています。

体は老いても心は若く、切磋琢磨して末永くお客さまと関わられるよう頑張ってます。



3、墓石はクリーニングすると、驚くほど色・つやが蘇ります。お客様の大切なお墓のお手入れは、私たち中谷石材の施工部にお任せください！



“永代供養”で墓石を安置している 阿弥陀寺様の清掃をしました！

当社がお預かりして永代供養をしている無縁墓や仏石は、大川町の阿弥陀寺様の境内に安置されています。8月4日（木）、大川工場と字彫課の社員10名でお盆前の環境整備清掃を実施しました。とても暑い日でしたが、みんなで頑張りましたよ～。



多様化する
墓石事情の中で・

お墓の在り様は、急速な高齢化の進行と同時に実に多様化しています。

残念ながら、「先祖代々のお墓を家族で守る」ということが、今では当たり前前のごとではなくなってきました。今あるお墓を墓じまいをする人が増えて、合同墓に変える方や、樹木墓、納骨堂を選択する人が増えています。

中谷石材は、明治中期からの庵治石の採掘を通じて永く「墓石」と関わって来ました。私たちは、墓じまいが増える傾向に危機感を感じつつ、これからも、お客様一人一人が願う供養のかたちや思いに、より一層、寄り添い続けたいと願っています。

阿弥陀寺様のご協力のもと、『三界万霊塔』を中心に据え置いた清閑な境内の墓地で、当社が永代供養をしながらお預かりしている無縁墓の仏石は年々増えています。

私たちはこれからも、草むしり事業部の仲間と共に培った経験を活かし、汗を流して、大切にお守りさせていただきます。



『三界万霊塔』
多くは寺の境内や墓地に建てられて、万霊の供養や無縁仏を供養するものとされています。



今回の阿弥陀寺様の環境整備は、去年の12月27日以来になります。

その際には、草抜きと水路の落ち葉の回収がメインでしたが、定期的な草の確認を怠つたためにかなりひどい状態になっていました。

幸いにして字彫課からの心強い応援もあり、何とか予定していた時間内に作業を終わらすことが出来ました。今後は定期的に草の確認に行き、早目に対応していきたいと思えます。

合同での環境整備の後、この日は昼からもさらに、木のチップを防草シートにかぶせていく作業を必要人員だけで行いました。これでも、かなり見栄えも良くなったと思います。

参加してくれた各部署の皆様、暑い中ありがとうございました。

大川工場 環境整備担当
鹿谷祥之



仲間の応援は、本当に心強かった！大川工場のメンバーだけでは、この日一日で終わることはむずかかったでしょう。また、蓮の花の美しい姿にも癒されました。



「草むしり日記」No.44

今年もたくさんのお客様から、お盆前のお墓掃除や草むしりのご依頼を頂きました。メンバーみんなの協力で、猛暑の中を頑張り抜きました！



草むしり事業部では若い、大須賀 輝さんです。

みなさん、こんにちは。今月の「草むしり日記」は、インタビューを通して、大須賀 輝(おおすか ひかる)さんを紹介します。

大須賀さんは1975年生まれの47才。さぬき市小田の出身で、毎日30分ほどかけて小田から通勤しています。

草むしりの仕事を始めてから、一年半が過ぎました。中谷石材にきて2回目の夏を迎えています。

以前は塗装の仕事をしていたそうです。3年に1度のガソリンスタンドの定期塗装の仕事が主で、その会社で10年勤めました。この10年ほどは閉鎖するガソリンスタンドも多く、「白塗り」と呼ばれる閉店を示す塗装も。時代の移行行きを感じたことでしょうか。

求人広告を見て、自ら応募

中谷へは、新聞に出ていた草むしり事業部の求人を見て自ら応募して社員になったそうです。長年塗装工として、夏の盛りも炎天下での仕事をしてきた経験から、この仕事も大丈夫だろうと思っていたとか。暑さへの不安よりも、個

人宅に向くような仕事は初めての経験だったので、むしろそちらの方に不安があったそうです。

草むしりの仕事を始めてみて思ったのは、「草むしりは楽しいなあ」ということでした。目の前の庭がどんどんキレイになっていくことに、この仕事の喜びとやり甲斐を感じるそうです。前の仕事の塗装業も壁などをキレイにする仕事でした。キレイに仕上げていく仕事からは達成感を感じられますよね。それも、喜びや、やり甲斐につながるのでしょうか。



刈った草や手抜きした草は、最後にもう一度ガンジキを使い丁寧に集めてきれいに仕上げていきます。帰宅後は、冷えたビールが待ってますね〜♪

大須賀さんは最初、朝の集合時にたくさん仲間がいる様子に驚いたそうです。朝礼後は、各班に分かれてその日の現場へ出かけます。草むしりの仕事は、仲間と助け合って仕事をするのがいいし、分からないことはすぐに教えてもらえて、仕事は楽しくできています。草むしりを始めて、明日仕事に行きたくないなあと思うたことは一度もないと言います。きつい仕事なはずですが、それ以上の喜びを感じているんですね。

うれしいのは、仕上がった後の庭をお客さんが見て「きれいな庭だね」と言われたとき。お客さんのよろこぶ姿が仕事への原動力となっているそうです。

そして、日中頑張ったあとのお楽しみが毎日の晩酌です。大好きな銘柄のビールを毎晩5、6本飲むそうですよ。これが大須賀さんのパワーの源泉なのかな?(笑)こうして翌日の仕事のために、身体に十分に水分も補給して、翌日への仕事にエネルギーチャージをしながら頑張っているようです。

出来る限り

この仕事を続けたいです

「過酷な暑さの下での草むしり作業は嫌になりませんか?」と聞くと、「ありません。」ときっぱりと答える大須賀さんでした。そして、「この仕事はできる限り続けたいです。」と話してくれました。

まだまだ暑さが続きそうです。仲間と一緒に体調にじゆうぶん気をつけて仕事されてください!

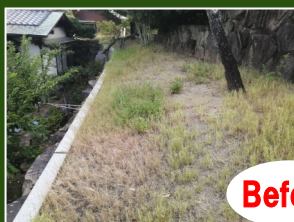


佐々木リーダーの班に所属する大須賀さんと仲間たちの、給水後の休憩風景。暑い中での作業での大切なひとときですね。みなさん、本当にお疲れ様です!



草むしり.com 高松

●「実家の庭をお願いしたいのですが…」
お子様からの問い合わせやご依頼も増えています。



Before



After

今月の社長のコラム

お蔭さまで。

今月は我々香川の県民食・うどんのお話なんです。と言いますのも、先だって仕事で他県の方と話をしていると、わたしが当たり前だと思ってるうどんのことに、一々驚かれるのです。それが面白かったので、今回はそれについて書こうと思います。

相手の方は、北海道に住んでいる方です。北海道には美味しいものがたくさんあります。まず頭に浮かぶのはウニやカニなどの海の幸ですが、北海道の人がいつも口にすることを考えると、滅多に食わないと言います。やはりあちらでも、高価なものだからです。次に思い浮かぶのはラーメンでしょうか。こちらは北海道民はよく食べるようですが、食べるにしても毎日というわけではありません。その方も若いときは週に何度も食べるのがあったそうですが、今では月に一、二度食べるのがせいぜいとのことでした。

香川の人にはどのくらいうどんを食べるのですか？と訊かれましたので、ほぼ毎日ですと言おうと、「ええーっ！」とビックリしていました。「ほぼ毎日ですか？中谷さんですか？」と聞かれたので、「私は週に四日くらいですかね。ラーメンよりうどん。もうこれは、絶対です。」香川の人がうどんを食べるのは昔か



完食！とにかくネギはたっぷり。そして、私はアジフライを好んで選びますね～。

らなんですか？」「そうですね。私の学生時代は喫茶店にうどんがありましたよ。確か、150円くらいだったかな。」「喫茶店にうどんですか！あでも思い出すと私の若い頃は、北海道の喫茶店にはラーメンがありました。」

「喫茶店でラーメンですか！」と今度は私が驚きました。「そうですね。ずいぶん昔の話ですけどね。でも、若い人はうどんだけでは足りませんか？」「みんなうどんプラスおにぎり・各種天ぷら・フライです。もしくはお稲荷さん。たいていのうどん屋には置いてますよ。」「それは炭水化物祭りですね。」「また、めずらしいのは一年中おでんがあります。」

こんな会話がしばらく続きました。県外に出たら、立ち食いなのになんでこんなに高いのかと思うことや、10年前に高速料金の上限が千円に固定された時代があり、あの頃から県外の人がうどんを食べに来ることが広まったと思うことなど、うどんにまつわることをいろいろとお話しました。

このところの物価高騰の影響を受けて、うどんの値段も上がってますよねとも訊かれました。さすがにこのところ何十円か上がっています。このくらいでは県民のうどん消費は変わらないでしょう。でも、百円上がったら、影響が出るでしょうねと私の予想をお伝えしました。

ウクライナは小麦の大輸出国です。ロシアもそうです。アフリカの国々での深刻な食糧不足が懸念されているそうですが、私たちの暮らしにも影響があるかも知れません。何とか早く紛争が解決して、どの国も平和になってほしいものです。

社長 中谷明生

社内報 施工部・字彫課 「菜の花通信」 57号より



先日、小豆島で施工の仕事をしました。

墓地に向かっていると、道の脇にアートが！もうすぐ夏期の『瀬戸内国際芸術祭』が開催されます。まだ開催前ですが、少しか降りて見えました。

僕が見たのは三都半島です。小豆島だけではなく、たくさん島の島が会場となっています。

ほんの一部しか見ていませんが、自然の中にあるアートや建築はとても惹きつけられました。興味のある方、3年ごとの開催なので、是非行かれてはどうですか。

施工部 三浦大輔



中谷へ再入社して9年、施工歴は18年。趣味で、『カマタマーレ讃岐』の応援とバスケットボールをしている三浦さんは、どこにいても存在が分かりポジティブで面白い人と後輩に慕われています。マイペースでよくよせず年上に可愛がられ気遣いのできる40才！と仲良しが言ってます^^

「カマタマーレでは、“讃岐大旗隊”という会を作り、副会長をしています。バスケットでは自分が代表でチームを持っています。この立場でさせて頂いていると、年上年下いろいろな年代の人と交流ができて楽しいですが、難しいことも沢山あります。なので学ぶことが多くやりにくいと感じています。仕事でも活かしていきたいと思っています。」こちらは、以前の社内報で本人の談でしたが…三浦さんは、熱い頑張り屋さんです！



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル ☎ 0120-148-144